

**製品名: NT5C1A ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab14919**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	41kDa

**抗原情報**

遺伝子名	NT5C1A
別名	NT5C1A; Cytosolic 5'-nucleotidase 1A; cN1A; Cytosolic 5'-nucleotidase IA; cN-I; cN-IA
遺伝子 ID	84618.0
SwissProt ID	Q9BXI3
免疫原	抗血清はヒト NT5C1A 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 151-200

**背景**

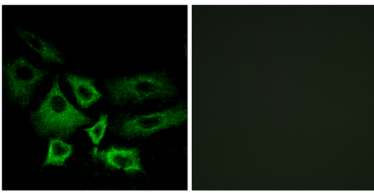
NT5C1A などの細胞質ヌクレオチダーゼは、ヌクレオシドーリン酸を脱リン酸化します（Hunsucker et al., 2001 [PubMed 11133996]）。[OMIM 提供、2008年3月],触媒活性: 5'-リボヌクレオチド + H(2)O = リボヌクレオシド + リン酸。補因子: マグネ

シウム。,酵素調節: ADPによって活性化。,機能: デオキシリボヌクレオチドの5'および2'(3')-リン酸を脱リン酸化します。幅広い基質特異性を有し、虚血および低酸素状態における心臓のアデノシン濃度の調節に役立ちます。,類似性: 5'-ヌクレオチダーゼ3型ファミリーに属します。,組織特異性: 骨格筋で高発現しています。心臓、脳、腎臓、脾臓で中程度のレベルで検出されます。

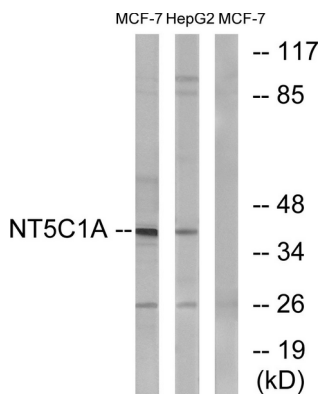
## 研究分野

プリン代謝;ピリミジン代謝;ニコチン酸およびニコチンアミド代謝;

## 画像データ



NT5C1A抗体を用いたA549細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした画像です。



NT5C1A抗体を用いたMCF-7細胞およびHepG2細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロックされている。